

## 第9回 稲敷市事務事業評価 外部評価委員会

### 公表議事録

日時：平成29年11月7日（火）午後1時～  
場所：稲敷市役所本庁舎 3階北321会議室

進行・時間	発言内容
1. 開会・報告書修正箇所説明	
事務局	<p>本日の流れを簡単に説明させていただきます。最終的にまとめました評価の結果報告書をご用意いたしました。ひと通り目を通していただき、訂正箇所等をチェックしていただきます。それが終わりましたら 13 時半から市長室の応接室に移動して、外部評価結果を報告と合わせて市長に手渡ししていただきます。その際、記念撮影をいたします。その後、市長から挨拶があり、各委員から講評・感想等をそれぞれいただきたいと思えます。歓談の時間としては 14 時半くらいまで予定しております。市長への報告が終わりましたら、こちらの会議室に戻り、引き続き、この後の対応について相談をさせていただきたいと思えます。よろしくお願ひいたします。</p>
事務局	<p>まず、次第の日時について、11 月 7 日木曜日を火曜日に訂正お願ひします。</p> <p>それでは、簡単に報告書で変更した点を説明いたします。</p> <p>まず、8 ページをご覧ください。No. 3 の英語検定料補助事業の評価理由において、「要保護や準要保護世帯への対応」についても評価理由に記載されておりましたが、担当課が違うので削除させていただき、追加として、生徒への英語検定受験対策やサポート体制を充実させる等、検定料の補助以外の支援を検討していくことに評価理由を変更させていただきました。</p> <p>また、同じく 9 ページ No. 5 の生涯学習講座開催事業をご覧くださいのですが、この事業は「概ね適正である」という評価結果になっていますが、評価理由の末尾において「そうさせるべきだ。」との表現を、全体的に「概ね適正」の事業について、「努めていただきたい。」等の柔らかめに言葉を変更させていただきました。</p>
委員	<p>すべてではないですね。</p>
事務局	<p>そうです。すべてではありません。</p> <p>また、前回指摘をいただいた 23 ページの評価結果の一覧で、「一部見直しがある」、「適正とは言えない」との評価結果については朱書きで色をつけさせていただきました。</p> <p>全体的な評価結果として「概ね適正である」が 16 事業、「一部見直し」が 15 事業、「適正とは言えない」が 1 事業ということを追加で記載もしてあります。</p> <p>次に、24 ページから 27 ページにおいて、外部評価委員の講評をつけさせていただきました。今皆さんの机にお配りしてありますが、委員の皆様から提出があった講評の原文であります。</p> <p>ないようについては、若干ですが、「です。ます。」調に修正し、文章を整えさせていただいております。読んでいただき、気になる点がありましたら変更させていただきますので、お話しいただきたいと思えます。</p> <p>そして、27 ページ、最後に、「講評を受けて」ということで、事務局</p>

	<p>のコメントを入れてあります。          前回からの変更点は以上となります。よろしくお願ひします。</p>
委員長	<p>27 ページの「講評を受けて」という部分を、次のページに移して、それぞれの取り組みを内部的に整理していただきたい。次の年でもいいのですが、予算に向けてどう取り組むかというのを、結果は別として、担当課の考え方だけでも整理したもの、集約したものをできればつけて、それに評価の担当課としての文章を付け加えて、「評価を受けて」という章立てを作って頂いた方が、全体としてはまとめやすいと思います。それでもう一度集まるかどうかは別としても、集まってその説明を受ければ、一層丁寧な話になると思います。</p> <p>来年度に向けてどうするか、その度にきちんと意見に対する、評価に対する答えを考えることが、ちょっとした訓練になると思います。そうすることによって2年目3年目と軌道にのってくると思われます。</p> <p>普通は3年かかります。評価の委員も3年かかりますが、評価される側も最低3年はかかります。もしかしたら5年かかるかもしれない。3年に1度くらいしか評価対象にならないので、その繰り返しで行うことによって身についてくるものだから、その度に答えを出さなくてはならないという面倒さがあったほうがきっといいと思います。</p> <p>この結果は市民に公表していくのですか。</p>
事務局	<p>公表予定です。</p>
委員長	<p>市民というのは最高決定機関ですので、そこで実施すべきという答えをきちんと公表すると、それは行政としての取り組みが一番はっきりとする形なので、ぜひ公表していただきたいと思います。その結果をまとめて、一度お話を聞けると、我々としては幸いだったと思います。</p> <p>できれば、「概ね適正」と「一部見直し」についてはほとんど差がない場合もあるので、それぞれに意見を一応つけてありますよね。そういう意味を受けて、概ね適正だけど、こういうところにこれから気を付けて整理していきますとか、何かコメントしていただけるとうれしいなど。</p> <p>かなりぎりぎりの線がありますよね。3対2、2対3の評価結果がありましたから。お手数ですがよろしくお願ひします。</p>

## 2. 市長への報告

事務局	<p>では外部評価の結果が上がって参りましたので、委員の皆様から市長へ報告書をお渡しさせていただきまします。</p>
	 <p>外部評価報告（写真撮影）</p>
事務局	<p>この後、委員からの講評等いただきますので、そこで詳しく説明させていただきます。では、市長からご挨拶をお願いいたします。</p>
市長	<p>今日は本当に忙しいところありがとうございます。報告書をいただきまして、本当にありがとうございます。大変な皆様のご尽力をいただきましたことを、改めまして御礼申し上げます。</p> <p>外部評価の導入は、稲敷では初めての試みでありまして、ヒアリング等ではとまどうこともあったと話は何っております。</p> <p>今回の外部評価の結果を踏まえまして、今後の事業の見直しを図り、そして次年度予算にも反映させていきたいと考えております。</p> <p>その際には、本日委員の皆様からいただいた講評を踏まえまして、よりよい市民サービスの提供ができますよう、取り組んでいきたいと考えております。</p> <p>外部評価は、次年度以降も引き続き実施していきます。今後とも委員の皆様からのご指導ご鞭撻をお願いいたしまして御礼の挨拶とさせていただきます。本当にお忙しい中、ありがとうございました。</p>
事務局	<p>ありがとうございました。では各委員の方々から講評、また感想を順番にいただきたいと思ひます。座ったままお話させていただきますよろしくお願ひします。では最初に諸岡副委員長からお願ひします。</p>
諸岡委員	<p>副委員長として何にもできませんでしたが、副委員長を務めさせていただきました諸岡です。全体として感じたことは、行政の皆さんが真摯に地道に事業に取り組んでいるなど感じていました。外部評価を進めて行く中で感じたことを3つ述べさせていただきます。</p> <p>一つ目は、総合計画を策定し「みんなが住みたい素敵なまち」の実現に向けての市政運営を行うためにPDCAサイクルを構築したということに重要な意味を見出して欲しいということです。この運営システムは、一度で終わるものではなく継続していくところに意義があると思ひます。</p> <p>年に一回、内部評価のときに評価するだけではなく、日々の業務においても評価・修正し、見直し継続していくことにより内部評価の時点ではその蓄積されたものが出てくると思ひます。そのようなプロセスを記録に残しておくことも重要ですので、是非お願ひしたいと思ひました。</p> <p>二つ目は、重点プロジェクトについてです。各課で多くの取り組みがなされていますが、その中でもこれは重点プロジェクトであるという認識をもつことが重要ではないかと思ひます。それにより内部評価も違った結果になると考えられ、次の課題にも影響すると思ひます。</p>

	<p>三つ目、第2次稲敷市総合計画では、「子どもたちの笑顔あふれるまち」「働きやすく住みやすいまち」「暮らして安心安全なまち」の3点を優先的かつ重点的なプロジェクトとして位置づけています。その実現のためには市民と行政が協働して取り組むことが重要であり、行政から市民への働きかけをいかにするか、市民の主体的な参画をいかに促すか、行政の姿勢が問われるものです。今後はその辺にも力を入れてほしいと思いました。</p> <p>以上です。改めて、外部評価委員として参加させていただきまして貴重な体験をさせていただきました。ありがとうございました。</p>
市長	<p>確かに諸岡委員のおっしゃった通りでありまして、やはり我々市役所の職員が市民の皆さんと一緒に進んでいかないと、答えの出しようがありません。</p> <p>行政側だけで先に進んでしまっても、市民の皆さんに理解をしていただきながらやっていかないと、非常に大変なことだと思っております。外部評価も初めての試みですが、プラスの方向に大分進んでいくのではなかろうかと思っております。</p> <p>毎年1回か2回、市政報告をやりますが、市民から質問がたくさんです。これも、こういうことと同じかという気がしてあります。市民の皆さんと一緒に進んで、答えを見つけて、進んでいくことができればいいなと思っておりますので、これからも1つよろしく願いいたします。</p>
事務局	<p>引き続き、小林委員お願いいたします。</p>
小林委員	<p>実際に実務的なことを何点か、感じたことを申し上げさせていただきます。日頃市民の安全安心についてはご努力いただいていることは重々感じておりますが、その中で不法投棄が後を絶ちません。ヒアリングでお聞きしたところ、固定カメラから移動式のカメラに今年から変えて、より精度のいいものを使って発見率を高めようというお話をいただきました。努力はしていただいていると思いますが、稲敷市は結構山などが多い場所なので、なるべくそういった対策を早急に行い、努力をしていただけたらというのが1点です。</p> <p>2点目が防災関係です。市が誕生してから12年ぐらい経過しているわけですが、その中で私が見ていますと、防災倉庫を1年に1ヶ所しか作っていませんでした。今現在12、3ヶ所しかなくて、学校の統廃合があったにしても、今年は予算で3ヶ所くらいやっていただきましたが、そういうことをなるべく早急をお願いしたいと思っております。</p> <p>あとは、稲敷市は何がブランドかということ、農業都市なので、地場産業といったら野菜です。私の地元は江戸崎かぼちゃが発祥ですが、銘柄産地を指定するには売上高が2億以上とか、条件があるらしいとお聞きしました。もう少し、発信力を強めていただいて、市のシティプロモーション推進室がJA稲敷などと横の連携を強めていただいて、そういった中でどんどん稲敷ブランドはこういうものがありますよ、と。市長が前々からおっしゃっていたような、どこで売ったら一番いいかという課題は山積していると思っておりますけれども、そういうのも含めて、これからの稲敷をよりPRしていただくためには、私としては一番がそういう部分かなと感じます。</p> <p>あとは、いかに稲敷に住んでもらうかという課題は大きいと思っております。それもあわせて、どういう風にしたら住んでもらえるかという。発信力と</p>

	<p>どうか、職員一人一人がセールスマン。市長がトップセールスでやっているとありますが、各々がセールスマンだという意識をもたないと、やっぱりうまく発信はできないのではないのでしょうか。そういったことで、あとは細々ありますが、そういうことで、私も初めて参加させていただいたので、いろいろ横須賀委員長にお世話になりながらやってみて、自分が在職していた時とまた違うなという感じはします。</p> <p>とにかく職員の皆さんは一生懸命やっているとすることは、ひしひしと伝わっては来ますが、それがどのレベルかと言った時には物足りない部分も若干見受けられた部分もありましたので、今後そういった部分も含めて、みんなで稲敷市を盛り上げていきたいと考えています。以上でございます。ありがとうございました。</p>
市長	<p>いろいろとご意見ありがとうございます。不法投棄対策は確かに固定カメラを増やしまして、警察署と一緒にやっています。これは今進んでいます。これからもっともっと良くしていかなければならないと思っています。</p>
事務局	<p>続いて中村委員をお願いします。</p>
中村委員	<p>私は最後に参加させていただいた中村です。市外在住なので稲敷市のことはいまだによく分からないまま過ぎてしまいました。最初に総合計画のコンセプトを見ました時に、「みんなが住みたい」というのが素晴らしいと思いました。</p> <p>中身をずっと拝見していて、「みんなが住みたい」のみんなというのは、現在の市民だけでなく、人口減少対策も取り込むということなので、他の地域から移り住んでもらうということも考えていらっしゃるだろうと思いました。そうすると、他の地域からの人に選んでもらわないといけない。やはり場所的には稲敷市は不利になってしまうので、それを超えた何か魅力がないとなかなか動けないでしょうと。そこら辺を意識して事業に取り込んでいかないとなかなか結果につながらないでしょう、というところを感じました。</p> <p>そのために、職員の皆さんが一つ一つの事業に取り組むときに、意識を変えていってやっていかなければいけないのではないかなと思っています。</p> <p>それと、私も中学生の子どもがいますが、お子さんを連れて若い世代が移り住む時に、稲敷市や周りの市町村も割とつくば市に人を取られていると思いますし、牛久にも取られているんじゃないかなと思うんですね。</p> <p>やっぱり経済的に余裕があれば、少し富裕層が住むところに移って行って、今よりも例えば教育環境がいいほうに流れていってしまうというのが現在の状況だと思います。</p> <p>そこを、競争は避けられないので、意識して周りよりもいいものをもっていかないとなかなか人は来てくれない。</p> <p>最近私が問題だと思っているのは、国際人を育てようと言いますが、茨城県を良くしようとか稲敷市を良くしようと言って、学校で人を育てないですね。それはすごく不思議なことです。</p> <p>中高一貫校ができたりしても、国際人を育てようと言いますが、なんで茨城県をこれから担う人、地元を担う人を育てようと言わないだろうって思っています。ぜひ、人数が少なければそれなりに個性を活かしていく方法はあると思うので、地元を育ててくれる、担ってくれる人を稲敷市ではこれから育てて、どんどん引き継いでいってもらったら、これから良くなっていくのではないかと思います。</p>

市長	<p>おっしゃるとおりですよ。委員の皆さんがおっしゃるとおり、本当にそうです。稲敷市には、「いなしきに住みたくなっちゃうプラン」がありましてね。88の事業項目を掲げまして、人口の減少対策をやっております。予算としては8億円程です。プランではいろいろ行っていますが、現実はなかなか難しいというのが事実です。</p> <p>やはり稲敷市のPRとかいろいろなことをやっていかないと。おそらく何もやらなかったら、どんどん減ってしまうでしょうね。</p> <p>委員の皆さんからのご意見をいただき一つ二つと行っていききたいと思っています。</p>
委員	ありがとうございます。
事務局	では、引き続き野村委員をお願いします。
野村委員	<p>この度は、稲敷市事務事業についての外部評価委員として市の行政に参画する機会をいただき誠にありがとうございました。</p> <p>これまで市の事業について深く考える機会がありませんでしたが、外部評価委員として各事業について担当課からの説明を受け、また他の委員の皆様のご意見をお聞きする中で、多くの困難があるにも関わらずかわらず、各事業を企画し、実行している行政に携わる皆様方に深く敬意を表します。</p> <p>私はこの度の外部評価に当たり自分が市の事業でかかわってきて思ったことは、市民として生活する中で感じていることを基準に評価させていただきました。また、私には事業内容がよく理解できないものもありましたが、基本計画を推進する上でどちらが良いかを考えて評価をさせていただきました。特に自分がかかわってきた子育て・児童福祉・食育などについては、思ったことを言葉がまとまらないながらも会議で発言させていただきました。そうした中で全体として感じたことは以下の2点です。</p> <p>一つは防災のような緊急性の高い事業は早く整備を推進していただきたいと思います。2年前に防災の講演会がありました。そこで稲敷市も防災に取り組んでいるというのが分かりました。危機管理課もその頃出来たばかりという感じだったと思いますが、その時のお話を伺って連絡網みたいな連携の体制が欲しいと思います。災害は待ってけませんので。</p> <p>また、二つ目はこの会議の中では特に項目としては上がりませんでした。児童福祉です。少子化の中、私の地域では5～6人に一人が一人親家庭になっており、子どもを取り巻く家庭環境が複雑多様化する中で、地域と行政がしっかり連携して見守っていく取り組みが必要だと思っています。</p> <p>最後になりましたが、行政に関する経験のない私としては、市役所の各担当課の皆様、また横須賀委員長をはじめ、委員の皆様方との話し合いに参加する機会を頂き、市の事業内容を様々な角度から勉強することができました。</p> <p>貴重な経験をさせて頂き大変ありがとうございました</p>
事務局	最後に横須賀委員長をお願いします。
委員長	<p>最初に3つお礼を言わせてください。</p> <p>1つ目はPDCAの循環を作って、評価というサイクルを入れていただいたということで、実施していただいたことにお礼をいいたい。</p> <p>もう1つは、評価を行う立場に入れていただいて本当にうれしく思っています。それと3つ目はお話を聞いても分かるように、それぞれ地域の人</p>

	<p>から、自分の経験の視点から、それぞれ意見を言っていたいただける委員さんを選んでいただいて、評価の中身も充実する形でできたことを有難く思っております。</p> <p>私の方は、この取り入れたものをどこまでつないでいただいて、これがうまく全体のサイクルと機能していただけるかということですので、引き続きよろしくをお願いします。</p>
市長	<p>委員長の報告書で書かれた3つ、大賛成です。</p> <p>これは、やはりやっていかないと、変えないといけません。市役所だけでは財政的にはもたない。民間事業への切り替えというのは非常に重要で、やっていかなければならないだろうという気はしております。</p> <p>市民協働、これもおっしゃる通りでありまして、やっていかなければいけないだろうと。だから少しスピードを上げて進めないといけません。</p>
委員長	<p>防災などは議論がありましたけれど、あれはやはり、地域で3日守ってみせるぞ、というようなそういう地域に育てるとというのが基本だと思います。</p> <p>やはり役所は来てくれないんだと思うくらいに、防災の意識は浸透させないといけません。役所が一番大変な場所にしか行けませんと言いきっても、みんながそうかと納得するくらいの意識に地域がならないと無理だと思います。</p> <p>稲敷市でもみんなが理解できるような防災社会を作らないといけませんと思います。自分らで、何でもやっちゃおうというくらいの地域が起きてくると随分違うと思います。</p>
市長	<p>そうですね。その1つの例が東地区の三葉団地です。あそこはいろいろな自治組織がしっかりしてしまっていてね、皆さん個人でやってしまいます。</p> <p>三葉地区の皆さんは県外で働いていて移住してきた人で多く、自治組織のあるところですよ。</p> <p>防災関係も自分達で進めております。そのような地区が、委員長がおっしゃったように、いろいろなところでぽつぽつとできていくと非常にいいという気はします。</p> <p>いろんな面で理解していただきながら、行政も応援できるところは応援して、できないところは行政側も助けてもらう、という数を増やしていかないといけないんでしょうね。</p>
委員長	<p>稲敷市もきっと外からの人がきっと増えてきていると思いますが、その人達が重要なんですよ。</p> <p>鹿嶋とか鉾田、あの辺はやっとわかったんですけど、外からの移住者です。移住者が東京等で持った危機意識だとかそういうのを地元を持ってきている。都会で暮らしてきた人達は違うので、その人達がリーダーになっているんですよ。</p>
市長	<p>そのようなことがきつとこの辺でも少しずつ起き始まっていると思います。</p> <p>GI認証をいただいた江戸崎かぼちゃも、農協でポタージュを作っていたかきまして、今年コンビニで発売をしてくれました。</p> <p>おそらく、今度はもっと販売数が増えるだろうと思うんですよ。</p> <p>私も食べましたけれど非常においしかったですね。いろいろなところで出していただくと非常にいいなと思っております。</p>
事務局	<p>そろそろ時間のほうになってしまいましたので。以上で報告会は終了とさせていただきます。</p>

以上